

OUS フォーラム 2023  
研究発表者への説明会 資料

1. プログラム
2. 準備のお願い  
研究シーズ出展リストの確認 (9/29 まで)  
  
アブストラクト作成  
→ メール添付(10/6 まで)
- 3 当日(11/27)のお願い

# 1. OUS フォーラム2023 プログラム

- 開催形式：会場開催 岡山プラザホテル
- 日時：会場開催日 2023年11月27日(月) 13:00～17:50
- 主催：岡山理科大学
- 共催：倉敷芸術科学大学、千葉科学大学
- 後援：国研)科学技術振興機構、中国経済産業局、国土交通省中国地方整備局、岡山県、岡山県教育委員会、(公財)岡山県産業振興財団、岡山県市長会、岡山県町村会、岡山市、倉敷市、玉野市、岡山市教育委員会、岡山県経済団体連絡協議会、岡山県商工会議所連合会、岡山県商工会連合会、岡山県経営者協会、(一社)岡山経済同友会、岡山県中小企業団体中央会、岡山県中小企業家同友会、(一社)岡山県発明協会、(一社)システムエンジニアリング岡山、(一社)中国地域ニュービジネス協議会、(公社)山陽技術振興会、(株)日本政策金融公庫、おかやま信用金庫、(株)トマト銀行、山陽新聞社、岡山県工業技術センター、岡山リサーチパークインキュベーションセンター、岡山県医用工学研究会

前半の部(講演会)

13時00分～13時10分 開会挨拶(学長)産学連携に関する本学の方針

13時10分～14時00分 特別記念講演

タカヤ(株)代表取締役社長 岡本龍二 様  
同 事業開発本部長 剣持雄一 様

14時00分～14時30分 産学官金連携事例紹介

研究・社会連携機構長あいさつ 南 善子 教授  
岡山理科大学 教育推進機構 辻 維周 教授  
岡山理科大学 URA 島田和彦 様

後半の部(ポスター・セッション:本学の研究シーズ)

14時50分～16時50分 ポスター発表 88件

ポスター発表と別会場での口頭発表

技術相談

15時00分～16時30分

名刺交換会

17時00分～17時50分 産学官金連携奨励賞の発表と表彰

## 特別記念講演者の紹介

### 【講演タイトル】

ー 井原から世界へ ー

タカヤ株式会社の歴史と2030年に向けての成長戦略について

### 【講演概要】

タカヤ株式会社は1894年に岡山県西部の井原市にて織物業として創業した企業です。1960年代以降、電子機器の組み立て、産業機器の製造、RFID機器の製造及びソフトウェア開発を軸として活動してまいりました。国内では岡山県内に本社及び4か所の工場と開発センター、東京、大阪、福岡に営業所を、海外では中国、タイに工場を有しております。

第1部は弊社における過去の歩みの紹介をし、第2部では各事業部における事業内容の紹介と2030年を見据えた各事業部における成長戦略につきまして紹介をさせていただきます。

### 【経歴】

岡本 龍二様

慶応義塾大学卒業

富士通株式会社を経て、1999年タカヤ株式会社に入社。

2017年代表取締役役に就任、現在に至る。



剣持 雄一様

専修大学卒業

株式会社富士通京浜システムエンジニアリングを経て、2000年タカヤ株式会社に入社。

2020年取締役役に就任、現在に至る。





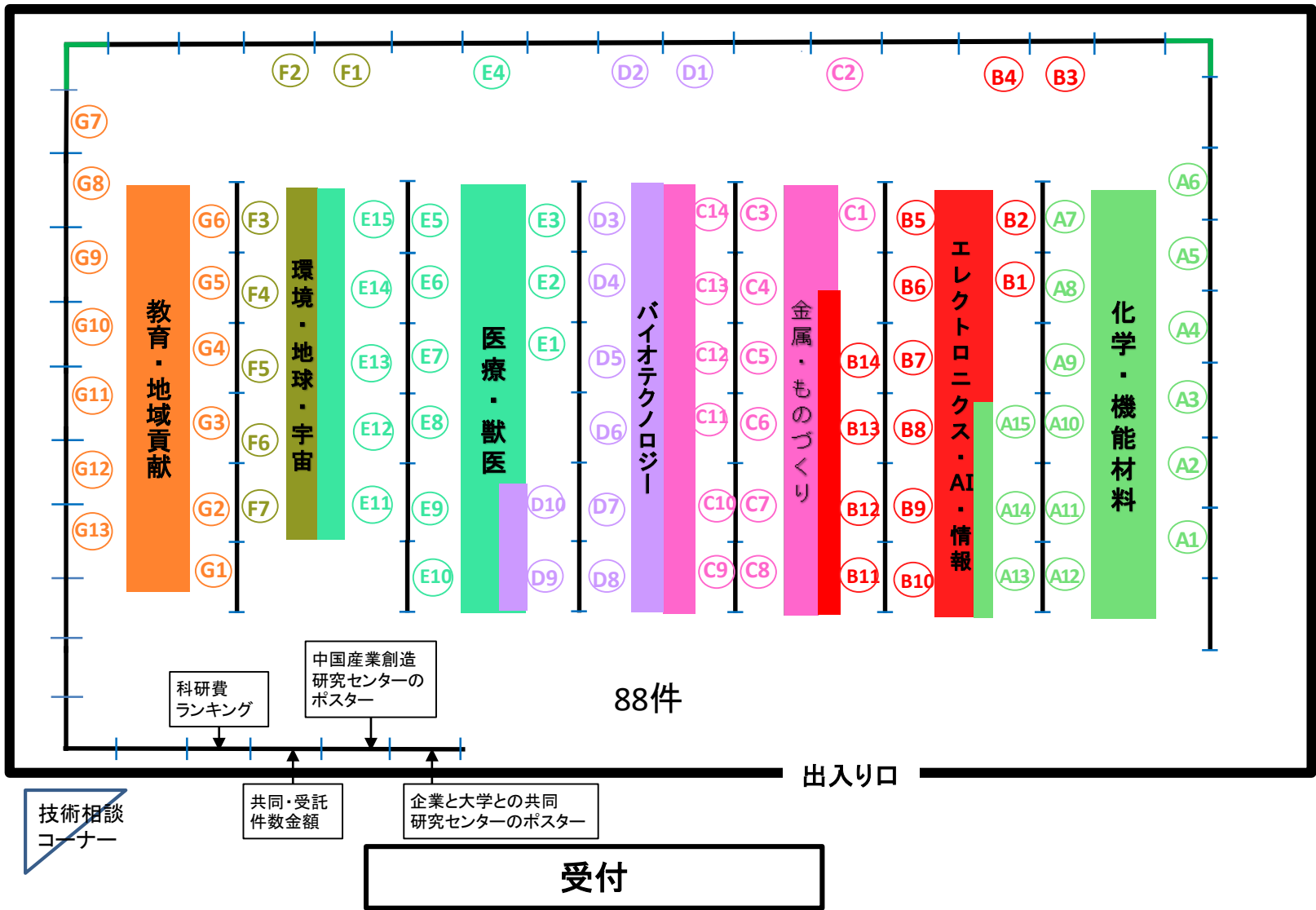
OUSフォーラム2023 研究シーズ 出展リスト

ステーション番号	展示テーマ	出展者	※代表者=イタリック体・太字 ※発表者=氏名の文頭に○
<b>A 化学・機能材料</b>			
A1	金属ポルフィリンダイマーに基づく電気化学的CO <sub>2</sub> 還元触媒の開発	浦本大成、坪田悠希、○ <b>満身修</b>	
A2	イナミンを用いた多環芳香族アミンの自在合成と光学特性の調査	○ <b>奥田靖浩</b> 、森まつり、松永夏旺、今田裕二、折田明浩、岡山大学 異分野基礎科学研究所	
A3	テオアルキンの位置および立体選択的な付加反応と生理活性物質の合成	○ <b>奥田靖浩</b> 、今田裕二、松永夏旺、森まつり、松浦信康、折田明浩、中国 湖南科技大学	
A4	ヘテロ原子置換エテニルホルムの合成と脱離反応性の評価	渡部光、○酒見俊輝、猪原芽子、中島悠雅、奥田靖浩、 <b>折田明浩</b>	
A5	エテニルホルムの脱スルホニル型アルキニル化によるZ-エンジンの立体選択的合成	○赤木有太、山田隼輔、奥田靖浩、 <b>折田明浩</b>	
A6	拡張バイ共役系を基盤とした機能性有機色素の創製	○ <b>岩永哲夫</b>	
A7	フッ素化クロリン錯体を誘導体とする金(III)錯体の結晶構造	中島しの、○ <b>赤司治夫</b>	
A8	DLC膜のラマンマッピングによる炭素結合のモデル化の提案	○福江紘幸、米澤健、 <b>中谷達行</b> 、東京電子(株)、岡山県工業技術センター、ケニックス(株)	
A9	高周波HiPIMS法によるDLC膜物性の最適化	○有田聖一、玄馬宗治、福江紘幸、米澤健、清水一郎、 <b>中谷達行</b> 、東京電子(株)、岡山県工業技術センター、ケニックス(株)	
A10	異形金ナノ粒子による可視光吸収・発光促進	○ <b>竹崎誠</b>	
A11	亜鉛ポルフィリン錯体に基づく可視光駆動型水素生成触媒の開発	○ <b>満身修</b> 、大城実之、高井翔生、 <b>島根大学</b>	
A12	古備回復元薬における内部温度の時間変化と焼成環境の推定	○ <b>島山唯達</b> 、備前焼平川忠工房、九州大学比較社会文化研究院	
A13	希土類水素化物半導体YbH <sub>2</sub> の基礎物性とこれをキャナル層に用いた薄膜トランジスターの試作	○ <b>中村修</b> 、栗田満史、九州大学、埼玉大学、東洋大学	
A14	多波長 - 多光子分光法を利用した新規計測法の開拓	○ <b>高橋広奈</b> 、酒井誠、 <b>愛媛大学</b>	
A15	磁気カプスターによる対流制御	○ <b>秋祥</b>	
<b>B エレクトロニクス・AI・情報</b>			
B1	ニューコンセプト 非接触給電	○赤津康仁、 <b>石田弘樹</b> 、(株)アドテックス	
B2	モビリティ兼用小型お座敷シミュレータ	○足立悠真、 <b>赤木徹也</b> 、趙菲、篠原隆、横田雅司	
B3	カメラ型可視光通信の高速化のための回転式LED送信機の開発	<b>荒井伸太郎</b> 、安井万貴、○尺田一輝、池田旭駿、難波右京	
B4	ドローン操縦者の姿勢モニタリングと見失防止デバイスの研究開発	○高谷健太、太田寛志、北川誠治、飯田涼太(千葉科学大学)、海老根雅人(千葉科学大学)、 <b>クルモパレリー</b>	
B5	無人機を併用した配送計画システムの開発	○井関智也、川本一輝、篠原凌、伊東駿、 <b>片山謙吾</b>	
B6	前後輪二輪電動バイクにおける運転支援システムの開発	<b>横田雅司</b> 、○丸野温司、檀上蓮	
B7	過酷な動的環境を考慮した自律型移動ロボットの制御システムの開発	<b>横田雅司</b> 、○林佳平	
B8	モニタとプリンタ間の色補正システムの開発	○岡田凌、 <b>上田千晶</b>	
B9	MMSで取得した3Dデータの処理ツール群の開発	○ <b>島田英之</b> 、(株)ウエスコ	
B10	防犯カメラ映像を用いた人の行動認識ソフトウェアの開発	○大塚翔、 <b>久野弘明</b>	
B11	ハンドトラッキングを用いたAR用UIの開発	○柏谷啓太、 <b>藤谷淳</b>	
B12	効率的な生産スケジューリングシステムの開発	○伊東駿、福田翔希、井関智也、小田哲也、 <b>片山謙吾</b>	
B13	AIを用いた対話中の発話の影響度の推定	○大西朔永、 <b>権名広光</b> 、保森智彦	
B14	Transformerモデルを用いた四半期報告書による企業分析	○真原、大西朔永、 <b>権名広光</b>	
<b>C 金属・ものづくり</b>			
C1	軸受鋼の転動疲労寿命に及ぼすグリースの影響	○河本匠、池田尚大、 <b>關正憲</b> 、日本グリース(株)	
C2	コンピュータ解析を援用したステントセル形状の最適設計	○岡本凌、 <b>清水一郎</b> 、(株)日本医療機器技研	
C3	シミュレーション解析援用による管端塑性加工法の最適化	○三宅侘奈、 <b>清水一郎</b> 、(株)堺伸銅所	
C4	Cuショット粒を用いた熱間ショットピーニングによる傾斜機能材料の開発	○仙波尚起、 <b>竹村明洋</b> 、三宅大輝、寺野元規、篠原隆	
C5	各加工開始温度からの熱間ショットピーニングにおける表面状態の確認	○小林志温、王楊昆、 <b>竹村明洋</b> 、寺野元規、篠原隆	
C6	超高分解能で流体中の蛍光物質濃度を計測する手法	○ <b>岩野耕治</b>	
C7	CAE解析による前方押出要素を含んだ後方押出鍛造の検討	○田淵世射、 <b>寺野元規</b> 、清水一郎	
C8	CAE解析を用いたヒンジ部品製造における素材形状の検討	○武本拓也、 <b>寺野元規</b> 、(株)質陽技研	
C9	パニング加工による傾斜機能材料の開発 ~局所的結晶粒微細化法の検討~	○難波太覚、中尾蒼以、中藤領、 <b>寺野元規</b> 、竹村明洋、篠原隆	
C10	蛍光微粒子を用いた瞬時2次元ガス温度分布計測法の開発検討	<b>近藤千尋</b> 、村上和真、○大角伶央、河合紘希	
C11	マニピュレータの運動方程式における慣性行列の正定値性と操作性との相関	○生田悠斗、 <b>吉田浩治</b> 、衣笠哲也、林良太	
C12	陸上探索型レスキューロボットの試作	<b>藤本真作</b> 、○西山長佑、岩崎貴弘	
C13	水圧を利用した電源不要な非常用駆動源の開発	○吉田隆斗、 <b>小林亘</b> 、横田雅司	
C14	マストライバ型水上移動ロボットの開発	○跡上大稀、 <b>小林亘</b> 、横田雅司	
<b>D バイオテクノロジー</b>			
D1	交流高電圧プラズマを用いた医療用チューブの超親水性とゼータ電位の制御	○高畑直矢、今井裕一、福江紘幸、 <b>中谷達行</b> 、ストロープ(株)、岡山県工業技術センター	
D2	生体吸収性ステント評価用in-vitro還元系試験装置の開発	○龍谷朋柳、 <b>清水一郎</b> 、佐藤匠、(株)日本医療機器技研	
D3	酸化作用と糖化作用に及ぼすpHの影響	○安藝誠人、 <b>安藤秀哉</b>	
D4	さくら花酵母の分離から雄町米純米酒「桜華」の開発まで	○ <b>浦野輝</b> 、 <b>室町酒造(株)</b>	
D5	野生酵母によるワイン醸造とその解析	○北岡結美、 <b>金子明裕</b> 、 <b>嘉美心酒造(株)</b>	
D6	極限環境微生物由来プロテアーゼの産業利用	○ <b>古賀雄一</b> 、横山竜也、 <b>サラヤ(株)</b> 、NEDO、Green Earth Institute(株)	
D7	真皮線維芽細胞の貪食能に関する研究	○吉崎海斗、 <b>安藤秀哉</b>	
D8	共培養法を用いたメラニン生成抑制剤の評価	○小林桃子、 <b>安藤秀哉</b>	
D9	関節構造を模倣した培養構造体の作製に向けた組織工学的基礎検討	○藤島謙、唐振宇、 <b>岩井良輔</b>	
D10	筋細胞と腱細胞の凝集力の違いを活かした組織作製	○吉鶴歩実、藤原溪、米田大珠、伊豆弥生、 <b>岩井良輔</b>	
<b>E 医療・獣医</b>			
E1	高血圧病態における脈管リモデリングの可能性を探る	○浜田直輝、 <b>向田昌司</b> 、水野理介、尾崎博	
E2	高血圧性血管内皮障害の分子治療標的の探索	○石川峻介、 <b>向田昌司</b> 、水野理介、尾崎博	
E3	高血圧に伴う腸内細菌の変化と血管内皮機能の検討~リン脂質に着目して~	○須賀光、 <b>向田昌司</b> 、水野理介、尾崎博	
E4	高血圧性血管収縮障害の分子治療標的の探索	○清水寧乃、進藤美紀、森本奈佑、向田昌司、水野理介、 <b>尾崎博</b>	
E5	高血圧症における腸内細菌の変化による血管障害機序の検討	○澤田智樹、海堀美樹、向田昌司、水野理介、 <b>尾崎博</b>	
E6	非侵襲的手法を用いたコウモリ保微生物の調査	新納亮太、中本敦、飯田龍星、○ <b>渡辺俊平</b>	
E7	フロー式イムノセンサーによる炎症マーカー定量法の開発	○ <b>畑明寿</b> 、藤谷登、(株)シーズテック	
E8	犬の慢性腎臓病の診断・治療方法の確立	○ <b>杉本佳介</b>	
E9	NPPVマスク用自動フィッティングシステムの開発 -超小型空圧センサの製作-	○浅原佳江、 <b>趙菲</b> 、田辺悠生、池上諒	
E10	褥瘡防止や移乗用の空気圧駆動アクティブマットレスの試作	○ <b>趙菲</b> 、赤木徹也、瀧口寛子、田原姫七、和田迅斗	
E11	アキレス腱修復メカニズムの解明	○ <b>伊豆弥生</b> 、藤原溪、米田大珠、藤田望、外園耀基、李天鎬	
E12	ヒストンH2AのO-GlcNAc修飾系によるトリプルネガティブ乳がん(TNBC)の増殖機構の解明	○鶴野耀子、 <b>早川亮司</b>	
E13	臨床での使用を想定した随意的表面筋電位の発生を促すリハビリ訓練システム	○若宮大河、田辺敦司、田邊颯人、 <b>林良太</b> 、衣笠哲也、吉田浩治	
E14	伊予柑果皮抽出液を含むイヌ外用剤の開発	○因藤泰子、大西貴子、佐伯香織、 <b>松田彬</b> 、 <b>愛媛県産業技術研究所</b> 、(株)アイテック	
E15	新学術領域、獣医療工学、獣医療福祉工学の創生に向けた社会実装型動物関連デバイスの開発	赤木徹也、久野弘明、趙菲、横田雅司、古本佳代、佐伯香織、久枝啓一、朱夏希、○ <b>江藤真澄</b> 、西岡伶一、蔦承峻、可部研輔	
<b>F 環境・地球・宇宙</b>			
F1	気象情報を利用した濃霧による交通規制のAI予測	○鈴木由樹、 <b>大橋唯太</b> 、(株)ウェザーニューズ	
F2	UV-LEDによる各種微生物の不活化 -流水型UV-LED照射微生物不活化装置の開発-	○宓望、 <b>齋藤順</b> 、井上大知、大原諒真、張揚、向井彩純、張瀚中、千代田工販(株)	
F3	特殊染色法を応用した脊椎動物化石の組織学的研究	○ <b>辻輝秀次</b> 、千葉謙太郎、實古玄貴、稲葉勇人、村上凱皇、佐々木誉人、岡山大学	
F4	恐竜研究を中心とした新たな本学研究シーズの確立	○ <b>豊田新</b> 、石垣忍、高橋亮雄、島山唯達、衣笠哲也、押谷潤、名取真人、青木一勝、林昭次、佐藤友彦、 <b>モンゴル科学アカデミー古生物研究所</b>	
F5	海底熱水性重晶石の放射非平衡 - ESR年代測定	○角本美優、 <b>豊田新</b> 、神戸大学海洋底探査センター、森山地質年代学研究所	
F6	最終氷期から完新世にかけての風送塵起源の変動	○岡田夏蓮、 <b>豊田新</b> 、奈良女子大学	
F7	シミュレーションデータを利用した地球近傍の暗黒物質密度の評価	○中林拓帆、 <b>長尾桂子</b> 、 <b>鈴鹿工業高等専門学校</b>	
<b>G 教育・地域貢献</b>			
G1	学生参加型ゴビ砂漠フィールドワークの実践と本学恐竜学博物館教育への展開	○ <b>石垣忍</b> 、豊田新、林昭次、山下浩之、實古玄貴、市川美和、高橋亮雄、千葉謙太郎、名取真人、辻輝秀次、衣笠哲也、押谷潤、佐藤友彦、 <b>モンゴル科学アカデミー古生物研究所</b>	
G2	オノマトペを活用した表現技能指導	○ <b>斎藤純子</b> 、笹井香	
G3	中学校数学「数と式」と「関数」領域で扱われる難数量と連続量の教科書分析	○森川貴文、 <b>福田博人</b>	
G4	数学教育における文化に焦点を当てた折り紙の教育的意義について	○花房和輝、 <b>福田博人</b>	
G5	国内外の調査から見る日本の児童生徒の算数・数学に対する見方の変遷	○浅越天真、 <b>福田博人</b>	
G6	プログラミング的思考力を高めるにはどんな学びがよいか	○ <b>高橋信幸</b>	
G7	教育・研究機関としての工作センターの取組み	○ <b>篠原隆</b> 、寺野元規、露無正治、亀山寛司	
G8	愛媛県の農産物産物を用いたイタリア料理フェアの展開 in 東京	○ <b>深瀬徹</b> 、中村有加里、(株)ひらまつ、 <b>愛媛県</b>	
G9	愛媛県砥部町の特産品としての砥部焼の新たな可能性の探索	○ <b>中村有加里</b> 、 <b>深瀬徹</b> 、 <b>陶房くるみ</b>	
G10	地域事業者主導の販促イベントにおける地域経済への波及効果の分析手法の確立	○ <b>高橋良平</b> 、小淵奈留、柏田慎也、門田寛、小谷凌也、小橋陽向、 <b>嘉美心酒造(株)</b>	
G11	アジア・南太平洋地域におけるペラントコリアル建築に関する比較研究	<b>江面嗣人</b> 、八百板季穂、○吉原究、黒田有花、岡本怜也	
G12	真庭市勝山の都市形成に関する研究	○黒田有花、岡本怜也、蓮池一真、 <b>八百板季穂</b> 、 <b>江面嗣人</b>	
G13	研究・社会連携機構総合機器センターのご紹介	○櫻井詠司、船本利春、藤原俊明、 <b>山田真路</b>	

# ポスター展示会場配置

4 F (鶴鳴の間)

後楽園側





## 2. OUS フォーラム2023 準備のお願い

### 【 出展者リスト確認のお願い 】

- 初期：       ステーション編成 題名と代表者名のみのリスト  
OUS フォーラム2023 ステーション編成（案）     (Vre.2)  
[https://renkei.office.ous.ac.jp/forum/ous-f\\_2023](https://renkei.office.ous.ac.jp/forum/ous-f_2023)  
申込みテーマの記載の有無、題名や代表者氏名をご確認下さい。
- その後：     パンフレットと同じ形式のリスト  
[https://renkei.office.ous.ac.jp/forum/ous-f\\_2023](https://renkei.office.ous.ac.jp/forum/ous-f_2023)  
題名や学内の共同研究者氏名、学外の共同研究先名等をご確認下さい。  
修正がある場合、研究・社会連携部宛（renkei@ous.ac.jp）  
に9月29日（金）までにご連絡ください。

### 【 アブストラクト 】

- 様式       [https://renkei.office.ous.ac.jp/forum/ous-f\\_2023](https://renkei.office.ous.ac.jp/forum/ous-f_2023)  
よりダウンロードして下さい
- 提出     メールに添付  
送付先 renkei@ous.ac.jp 締 切：10月6日（金）  
メール件名 OUS フォーラム2023 アブストラクト  
添付ファイル名 ステーション名・発表者氏名
  
- 発信方法 冊子として発行
- 注意事項など  
様式の変更はしないでください。  
例えば、余白設定変更、ライン削除、字間、行間、ページの行数、  
様式の再作成。著者の記載方法は例に従ってください。  
著者の記載方法は例に従って、発表者に ○印 をつけて下さい。  
アブストラクトは1ページです。  
パンフレットと同じ形式のリストからのタイトルおよび発表者の変更は  
しないで下さい。  
（パンフレットの校正作業が生じます。）  
公開することを念頭にして作成願います。  
研究目的、応用の可能性を明記：一般の方が理解できるような平易な  
言葉で図表は大きく。  
特許出願済みのものは、記載してください。（出願番号， 特許番号など）  
特許出願の予定がある場合、必ず11月24日までに~~出願~~を終えてくだ  
さい

### 3 当日(11/27)のお願い

#### 【 展示ポスター 】

- 用意されているもの
  - ポスター展示用ボード： 1テーマ当たりの展示面積 (W180 cm×H210 cm)
  - 机：ボード前に机 (W1800×D450×H750mm)
  - 研究室等表示帯：ボード上部に学部・学科・研究室
- 展示ポスターの作成について
  - ポスターサイズ：(例) B1 サイズ (W728×H1030mm) を 2枚
  - 字、図表を大きく見やすく (フォント：最小でも 42pt 程度以上)



番号	○ ○ 学部 ○ ○ ○ 学科
	○ ○ ○ ○ 研究室名

- 展示ポスターの記載項目
  - タイトル
  - 「研究室名」は、必ずしも必要ではありません。
  - <研究目的・応用の可能性>明記 一般の方が理解できるような平易な言葉で
  - 字・図表を大きく。
  - 特許出願済みのものは、記載してください。(出願番号 or 特許番号 など)
  - 特許出願の予定がある場合、必ず 11 月 24 日までに、出願を終えておいてください
- 展示・取付け方法
  - コマンドタブで直接貼り付ける、または (パネルをケースに入れる場合) チェーン (ひも) を介してフックにぶらさげる。
  - 必要なコマンドタブは、研究・社会連携部で用意し、当日は、各ポスターの机の上に置いています。
  - フックが必要な場合は、研究・社会連携部まで (11 月 22 日水) までに、ご連絡下さい。
  - フックは研究・社会連携部で用意しますが、ケース、チェーン (ひも) は各自用意してください。(フックを使用する場合は、ワッポンは用意しません。)
- 搬入・搬出・設置方法・時間
  - 当日 (11 月 27 日) の午前 9 時から正午までに、搬入・設置してください。必ず、当日正午までに、設置を完了してください。設置場所は当日、研究室等表示帯あるいは入り口にある表示を確認して下さい。
  - 入口：ホテル内部のエレベータを使用してください。搬出・撤収は、当日、17:00~18:00 を厳守。



○大学からの運搬：11月22日（水）17時までに研究・社会連携部までに届けていただければ、当日9時までに会場に運搬します（岡山キャンパスのみ）。それ以外は、各自でお願いします。

● ポスター展示、発表の方法

○14時45分から16時50分までは、誰か（質問に答えられる方）がポスター前、あるいは近くにスタンバイしててください。

○デモ用必要設備の確認

デモンストレーションが必要な場合、適宜実施

（電源関係など11月22日（水）までに研究・社会連携部までご連絡下さい。）

○パソコン等使用の場合、5m程度のテーブルタップを用意してください。

○ポスター発表をする企業関係者におかれては、名札等の作成のため、説明者の所属・名前を至急、ご連絡ください。

● 名刺交換会及び産学官金連携奨励賞の発表と表彰

○表彰される方は、お残り下さい。

● その他

○ホテル内には、飲み物の自販機はありません。各自、持ち込むなどの対応をお願いします。

○駐車場は駐車券を発券するシステムになりました。打刻の機械（無料となる）を受付に設置するので、打刻して下さい。

OUS フォーラム 2023 締切日一覧

アブストラクト	10月6日（金）
当日のデモ用電源やフック	11月22日（水）
大学からの運搬物（ポスターなど）	11月22日（水）17時
特許出願（必要な場合）	11月24日（金）